

市長定例記者会見の概要(令和6年第2回市議会定例会ほか)

5月29日、15:00～、101会議室

令和6年第2回市議会定例会(6月4日に召集)の開催にあたり、下記項目を発表。

- 1 定時制・通信制高校等合同学校相談会の実施
- 2 立川シティハーフマラソン2024で日本デフ記録を更新
- 3 くるりん・ウドラをデザインした白衣の作成について
- 4 立川市史の資料編写真集について
- 5 民間事業者による「たちかわ電子図書館」への追加支援(輪島市支援の拡充)

定例記者会見発表資料

令和 6 年 5 月 29 日（水）

立川市総合政策部広報課

発表項目	定時制・通信制高校等合同学校相談会の実施
<p>【概要】</p> <p>子ども家庭部子ども育成課では、立川市子ども・若者自立支援ネットワーク事業の一環として、年に 2 回、「定時制・通信制高校等合同学校相談会」を実施しています。市内には定時制や通信制の高校が多く設置されていることから、同ネットワーク参加校の教員の発案により、平成 28 年度からスタートした事業です。</p> <p>相談会当日は、公・私立を問わず様々な教育課程の学校や支援団体等の教職員が約 20 のブースを設置し、直接ご質問やご相談にお答えするほか、学校の選び方のコツや在校生の体験談、教育費の補助制度に関するミニ講演等も開催します。</p> <p>進路に悩む学生をはじめ、高校について情報を得たい保護者や学校関係者など、毎回多くの方にご来場いただいています。</p> <p>【事業費】</p> <p>立川市子ども・若者自立支援ネットワーク運営委託料 1,832 千円 ※予算額は、ネットワーク事業全体のもの。当該事業分は、うち一部。 委託先：特定非営利活動法人 育て上げネット</p> <p>【実施日】</p> <p>令和 6 年 6 月 23 日（日）午前 10 時～午後 4 時 立川市役所本庁舎 ※入場無料・予約不要・入退場自由（詳しくは別紙参照）</p> <p>【PRポイント】</p> <p>初夏の学校相談会を市庁舎で開催するのは初となります。</p> <p>当日は、参加校の高校生が運営ボランティアとして携わります。実際に通う学生や学校の雰囲気に来場者により身近に感じていただけるとともに、ボランティアの高校生には、社会とのつながりを意識していただける場となることを期待しています。</p>	
添付資料	有
問い合わせ先	子ども家庭部子ども育成課長 小川 和美 電話：523-2111（内線）1110

きっと見つかる！あなたに合った学校！！

参加校紹介冊子プレゼント！

定時制・通信制高校等 合同学校相談会

進路に悩む小・中学生
進路変更を検討している高校生
高校について知りたい保護者・教員

入場
無料

予約
不要

入退場
自由

服装自由です！

どなたでもご参加ください！

都立・私立どちらも！
定時制、通信制、エンカレッジなどが一日でわかる！

令和6年

6月23日(日)

10:00 ~ 16:00

入場は15:30まで



会場 立川市役所 本庁舎



立川市役所
立川市泉町1156-9
多摩モノレール 高松駅から徒歩10分
立川バス 立川市役所バス停下車目の前

※当日は「東京都知事選挙」の期日前投票所が同庁舎内に開設されているため投票にお越しの方もいらっしゃいます

主催：立川市
後援：立川市教育委員会
協力：国立市・国分寺市・昭島市

お問合せ
立川市子ども家庭部
子ども育成課青少年係
電話：042-523-2111
(内線1305)

◎各校個別相談ブース（本庁舎1階）

時間：10:00～16:00

【参加校】

- ・あずさ第一高等学校 立川キャンパス
- ・鹿島学園高等学校
立川連携キャンパス
- ・おおぞら高校 立川キャンパス
- ・星槎国際高等学校 立川学習センター
- ・第一学院高等学校 立川キャンパス
- ・一ツ葉高等学校 立川キャンパス
- ・GRES高等学院
- ・ヒューマンキャンパス高等学校
立川学習センター
- ・学研のサポート校WILL学園
立川キャンパス
- ・NHK学園高等学校

- ・都立砂川高等学校 定時制課程・
通信制課程
- ・都立秋留台高等学校(エンカレッジス
クール)
- ・都立青梅総合高等学校 定時制課程
- ・都立五日市高等学校 全日制課程・
定時制課程

【その他】

- ・東京西法務少年支援センター
- ・立川市社会福祉協議会
- ・認定NPO法人育て上げネット（保護者
相談）

◎講演会（本庁舎302会議室）※時間は変更する場合がございます

①10:20～10:40,②13:45～14:05

学校の選び方

参加校の教員が、高校の種類や学校選びの
ポイントなどを分かりやすくご説明します。

10:45～12:50

各校プレゼン

参加校の教員や在学生在が、1校あたり10分
程度でそれぞれの学校の特徴や授業の内容、
通学の有無などをご紹介します。

12:55～13:15

教育費の補助制度（立川市社会福祉協
議会）

立川市社会福祉協議会が、受験や高校生活
における経済サポートについてお話します。

13:20～13:40

こころに寄り添う（東京西法務少年
支援センター）

心理・教育の専門家（東京西法務少年支
援センター もくせいの杜心理相談室）が、
日常生活や学校生活での心のケアについて
お話します。

14:05～14:50

在校生・卒業生の座談会

定時制・通信制高校の在校生・卒業生が、
自身の進路決定や現在の学校生活などをお話
します。

特設サイトは
こちら！



～立川市子ども・若者自立支援ネットワーク事業～

不登校、引きこもり等、社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども・若者の自立
を、教育、福祉、保健・医療、矯正・更生、雇用、その他の各分野の行政、NPO、社
会福祉法人等によるネットワークを活用して、支援する事業です。支援機関・団体の
抱える課題や事例を共有し、情報共有や支援者向けの研修会を行っています。

定例記者会見発表資料

令和 6 年 5 月 29 日 (水)
立川市総合政策部広報課

発表項目	立川シティハーフマラソン 2024 で日本デフ記録を更新
【概要】	<p>立川市出身のアスリート岡田海緒選手（第 24 回夏季デフリンピック競技大会（2022 ブラジル カシアス・ド・スル）陸上女子 1500m 銅メダル 所属：三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社）が 3 月 10 日（日）に開催された立川シティハーフマラソン 2024 大会の 1 マイルレースにおいて、日本デフ記録を更新されました。</p> <p>岡田選手は 800m、1500m でも日本デフ記録保持者であり、これで 3 種目の日本デフ記録を保持されることになりました。</p> <p>また、7 月に台湾で開催される、第 5 回世界デフ陸上選手権の 800m に出場が内定いたしました。</p> <p>岡田選手は、5 月 31 日（金）に記録更新と世界大会出場の報告に市長を訪問する予定です。</p>
【PRポイント】	<ul style="list-style-type: none">・ 1 マイルの女子日本デフ記録を樹立・ 7/14～7/23 台湾で行われる第 5 回世界デフ陸上に 800m の代表が内定・ 2025 年東京で開催されるデフリンピックでも 800m、1500m 両種目での活躍が期待される。 <p>※デフとは英語で「deaf (デフ)」聞こえない人・聞こえにくい人という意味で、日本デフ記録は一般社団法人日本デフ陸上競技協会が公認した記録。</p>
添付資料	無
問い合わせ先	産業文化スポーツ部スポーツ振興課長 中村 達也 電話：523-2111（内線）4410

定例記者会見発表資料

令和 6 年 5 月 29 日（水）
立川市総合政策部広報課

発表項目	くるりん・ウドラをデザインした白衣の作成について
【概要】	<p>令和 5 年度 2 学期より、東調理場から中学校及び単独調理小学校へ給食提供を開始するにあたり、市立小中学校に通う児童・生徒を対象に 2 つの調理場の愛称を募集し、「みんなのくるりんキッチン」としました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が蔓延により、栄養士による給食訪問ができない期間が長く続いてきましたが、令和 6 年度より給食訪問を本格的に再開するにあたり、2 つの調理場の愛称にある「くるりん」をデザインした白衣を作成しました。また、給食では立川名産であるウドが入った料理を提供しています。そのウドのキャラクターである「ウドラ」を株式会社壽屋のご協力を得て、「ウドラ」をデザインした白衣もあわせて作成しました。</p> <p>「くるりん」「ウドラ」をデザインした白衣は、栄養士が給食訪問や食育授業、調理場への社会科見学時に着用します。</p>
【開始時期】	令和 6 年度から
【PRポイント】	<p>くるりん白衣は、背中の収穫した野菜を抱えたくるりんのデザインがポイントになります。</p> <p>ウドラ白衣は、野菜を抱えたウドラのデザインがポイントになります。</p> <p>実際に給食訪問や食育授業で栄養士が着用すると、多くの児童が集まり、「かわいい」と大人気となり、集中して話に耳を傾けてくれています。</p>
添付資料	無
問い合わせ先	教育部 学校給食課長 青木 勇 電話：523-2111（内線）6815

立川市長定例記者会見

2024年5月29日

新編

立川市史

The history of Tachikawa city

—資料編—

写真集







1
国鉄全線
急行線
グリーン車
入用券



2
国電区間
近郊急行線
グリーン車
入用券

新幹線
山手線
有楽町線
丸の内線
有楽町線
丸の内線
有楽町線

国鉄全線
急行線
グリーン車
入用券

国鉄全線
急行線
グリーン車
入用券

入用券
30分

立川駅
TACHIKAWA STATION



0円
(代)

← 中央線 (新宿 東京 八王子 甲府)

青函線 (青森 奥平 武蔵五日市 北口) →

南武線 (府中本町 登戸 武蔵小杉 川崎) 方面
0425-23-1111
水曜日定休 (日曜全営業日は午後7時30分迄ご注文承ります)

0425-22-2108
北口下層・北井クラブ

南武線 (この先7です) ↑
NAMBULINE AHEAD
府中本町・登戸・武蔵小杉・川崎 方面
FOR FUCHU-HONMACHI-NOBORITO-MUSASHI-KOSUGI-KAWASAKI

南武線 (府中本町) 方面はこの先7

0425-22-9191

5













事業概要		実施時期：令和6年5月～
【目的】 石川県輪島市の小・中学生等も閲覧できる読み放題コンテンツを追加し、子どもたちの読書環境を充実させる		
【主要内容】 立飛ホールディングスの費用負担により電子書籍（4パック157点）の読み放題コンテンツを追加する		
<p>1 追加する読み放題コンテンツ（4パック157点）の内訳と費用負担</p> <p>（1）内訳（金額は税抜き）</p> <p>①講談社 人気の童話パック 40点（253,960円） ②講談社 YAパック 40点（286,440円）</p> <p>③岩崎書店 おはなし・学びパック 50点（197,792円）</p> <p>④メイツユニバーサルコンテンツ 調べ学習「みんなが知りたい」パック 27点（279,048円）</p> <p>（2）費用負担 1,118,964円（税込み） ※立飛ホールディングスがコンテンツ使用料を直接支払う。</p> <p>2 追加支援分のコンテンツ閲覧開始日と支援後のコンテンツ総数</p> <p>（1）閲覧開始日：令和6年5月1日から （2）総数：21パック 953点</p> <p>3 輪島市支援の概要</p> <p>輪島市の小・中学生に対して「たちかわ電子図書館」の電子書籍「児童書読み放題パック」を閲覧できる状態にしてサービス提供を実施。期間は3月12日～8月31日まで。電子書籍サービスを提供している株式会社図書流通センターの協力により、輪島市へのサービス提供が実現。</p> <p>4 その他</p> <p>立飛ホールディングスより、電子図書館周知チラシの作成・印刷の支援を受ける予定</p>		

成果予測	予算・財源	今後のスケジュール
立川市の小・中学生約12,000人のほか、石川県輪島市の小・中学生約1,200人が閲覧できる電子書籍のコンテンツの充実を図ることで、子どもたちのさらなる読書活動の推進につながるほか、能登半島地震被災者支援事業の一環である「輪島市支援」の拡充が可能となる。	<p>市の負担なし</p> <p>※立飛ホールディングス負担分 1,118,964円（税込み）</p>	<p>5月1日 読み放題セット4パック157点の閲覧が開始</p> <p>5月中 電子図書館周知チラシの配布 （立川市、輪島市）</p>